

ゆめみにゅーす



YUMEMI ZOO



季刊 VOL. 45
発行日 平成29年8月3日
発行責任者 夢見ヶ崎動物公園
問い合わせ 044-588-4030

飼育展示数 哺乳類:25種163点
鳥類:27種96点
爬虫類:10種46点
(平成29年7月末日現在)

赤ちゃん参上



春から夏にかけて、いろいろな動物の出産ラッシュでした。

日立市かみね動物園からやってきたポリビアリスザルのポルトは6月11日に出産。赤ちゃんはすごい握力でしっかりお母さんにしがみついています。ほかのメスも赤ちゃんに興味津々で、ポルト親子によくついて回っています。

マーコールは5月末から次々出産。現在5頭が育っています。早くもかわいらしい角が出てきた個体も。親と一緒に草も食べ始めました。

ホンシュウジカも5月末から生まれ始めました。親ほど速く走れない子どもたちは、グラウンドの隅っこで敵に見つからないよう、目立たずじっと座っていることがよく見られます。

ハイロコクジャクは6月15日に2羽がふ化し、母親が一生涯懸命育てています。1羽は残念ながら育ちませんでしたが、もう1羽の雛はしっかり母親の後をついて歩き回り、親の真似をして餌を食べます。

かわいい赤ちゃんと頼もしいお母さんを見守ってくださいませ。



第17回 秋の動物園まつりのお知らせ

秋の動物園まつりのお知らせです。

- ・日時：平成29年11月12日（日曜日）午前10時～午後3時
- ・動物リレーガイド、ふれあいコーナー、ヤギ餌やり体験、シマウマ餌やり体験（★）、バックヤードツアー（★）、コンサートコーナー等
- ★…当日配布する整理券が必要です。
- ・雨天の場合は一部イベントの変更、中止になる場合があります。
- ・当日動物公園駐車場は利用できません。公共交通機関をご利用ください。
- ・詳しくは市政だより、ホームページ等もご覧ください。



※Vol.44で紹介した新任職員の氏名が間違っていました。×板垣祐司→◎板垣祐治 でした。

★ピックアップ動物★

クロキツネザル

哺乳綱 サル目 キツネザル科

マダガスカル島北部の熱帯雨林に生息しています。数頭の群れで行動し、昼行性（昼間に行動する）と、薄暮性（朝、夕に活発に動く）を繰り返します。主な食物は果実ですが、虫や木の葉も食べます。生息地の破壊による減少や狩猟等によって野生での生息数は減少し、絶滅危惧種（危急種）となっており、輸出入は厳しく制限されています。

他の種類のレムールと同様、オスとメスでは体格に差はありませんが、オスは全身の毛が黒いのに対し、メスは全身の毛が茶色で、耳から生える長い房毛が白い、という見た目の違いがあります。

現在夢見ヶ崎動物公園で暮らしているのはオスの2頭で、18歳のユーヤと、正確な年齢はわからないものの29歳以上なのは間違いのないハルオです。毛色や模様で見分けることはできませんが、ユーヤは両目が離れていて、ハルオは両目が近いので、並んでいるときに顔を見比べるとわかるかもしれません。



獣医の日記

プールを泳ぐペンギンたちが気持ちよさそうに見える季節です（一部は換羽中で苦しそうにボソボソになっているかもしれませんが…）。病気やけがなど事情があってバックヤードにいるペンギンにも、小さいプールを用意してあり、毎日気持ちよさそうに泳いでいます。

こちらのバックヤードで長く暮らしている常連のペンギンがいます。趾瘤症（しりゅうしょう）といって、足の裏にタコのようなものができてしまい、それが骨に達してしまっただめやむなく片足の指を切断したのですが、とても元気です。今は数日に一度、足を保護する靴代わりともなっている包帯を交換しつつ、状態の確認をしています。が、このようなことを数年も続けていると相手も慣れてくるもので、処置のために保定（捕まえて、治療しやすい姿勢を保つこと）していると、上手に体をくねらせていつのまにか人の腕から抜け出す寸前になっていたり、急に振り向いて反撃してきたりすることもしばしばです。さらには、つけたばかりの包帯をそのままの形ですっぽり脱いでしまうことも出てきました。これを脱ぐと、結局また巻かれる…ということにはまだ気が付いていないようで、しっかり足の裏を保護しておきたい我々との攻防はまだ続きそうです。



★動物たちの主な移動(平成29年5月1日～平成29年7月31日)★

フサホロホロチョウ(♂1死亡)、ポリビアリスザル(性別不明1繁殖)、ホンシュウジカ(♂2♀1繁殖)、マーコール(♂2♀3繁殖)、ミーアキャット(♂1死亡)、ブラウンキツネザル(♂1死亡)、ハイロココジャク(性別不明4繁殖)、インドクジャク(性別不明4繁殖)、アオボウシインコ(♂1死亡)